

| | | | | | |
|----|------|----|-----|------------------|---------------|
| 教科 | 科目 | 学年 | 単位数 | 使用教科書 | 主な使用補助教材 |
| 芸術 | 美術 I | 1 | 2 | 高校生の美術 I（日本文教出版） | なし（適宜プリントを使用） |

1 科目の目標と評価の観点

| | | | | | |
|-------|---|---|--|--|--|
| 目標 | 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| | 美術作品、造形物、自然物、生命感や心情、精神的・創造的価値等を認識し、造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり表現方法を工夫したりするなどして、創造的に表す技能を身につける。 | 主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。 | | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 | |

2 学習計画と観点別評価基準

| 学習内容 | 学期 | 学習のねらい | 観点別評価基準 | | |
|---------------|-----------------------------|--|---|---|---|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1、自画像 | 1 学期 （ 2 6 ） | ・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し表現することで感性を高め豊かな創造性を養う ・色彩理論の基本を学び様々な表現活動の基礎とする | ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 ・鉛筆の特性を生かし、グラデーションによる陰影表現を理解し、対象を表現することができる。 | ・対象を丁寧に観察し、形態のバランス、光、量感などを見極め、画面上に表現することができる。 ・自己を見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成している | ・てらいなく自らを見つめ、丁寧な観察から得た情報を自身の心情などをを踏まえ主体的かつ積極的に表現しようとしている。 |
| 2、風景画 | | ・目的や条件、美しさなどのデザインにおける色彩の機能、効果、特性などを知り、社会の中におけるデザインの意義を考え心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う | ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 | ・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成している。 ・表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 | ・主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。 |
| 3、色彩理論 | | | ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・色彩理論の基礎を理解している。 | ・目的や条件、美しさなどを考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・デザインにおける色彩の機能や効果、特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 | ・主体的にデザインの表現の基礎を学び作品に取り組もうとしている。 |
| 4、色彩構成 | | | ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。 | ・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成している。 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 | ・主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。 |
| 定期考查 | 0 | | | | |
| 1、映像メディア・絵コンテ | 2 学期 （ 2 6 ） | ・映像メディア表現における様々な技法、特性を知り、社会のに溢れる映像の成り立ちを理解する ・身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める | ・映像メディア表現における絵コンテの役割を理解している。 ・映像メディア表現における様々な技法を理解し、自身の作品を考案する中で考慮することが出来る。 | ・感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成している。 ・色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 | ・映像メディア表現における様々な技法、特性を理解し、自身の作品を考案する中で積極的に取り入れることが出来る。 |
| 2、寄木細工 | | | ・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かしている。 ・手順や技法などを吟味し、創造的に表している。 | ・自然や素材、自己の思いなどから心豊かな発想をしている。 ・用途と美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている。 | ・主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている。 |
| 定期考查 | 0 | | | | |

| 学習内容 | 学期 | 学習のねらい | 観点別評価基準 | | |
|--------------|-----------------|--|--|--|----------------------------------|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1、日本画 | 3 学期 (18) | ・日本美術の特質や美意識を感じ取り、伝統と文化について考え、見方や感じ方を深める | ・日本画の伝統技法である箔張りの技術を学び、自らも実践できる。 ・光による陰影の効果を理解し、自らの制作に応用出来る。 | ・自身で選んだモチーフから観察や自らの感性で感じ取ったものを、使用する画材の特性を生かし、創意工夫しながら表現することができる。 | ・積極的に創意工夫をし、より良い作品を制作しようとする。 |
| 2、鑑賞（日本の芸術家） | | | ・造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 | ・造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 | ・主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 |
| 定期考査 | 0 | | | | |